

【施策評価調査】

| | | | | | |
|------|------------------------|----------------------|----------------|-----|--|
| 施策名 | 6-2-2 | 女性を暴力から守るための対策の強化 | | 130 | 家庭、職場、地域において男女の役割意識や、これまでの固定観念を見直し、男女間の差別や不平等のない社会を築き、地域等の課題解決に対して、男女が共同して参画するまのの実現に向け、町民の意識改革に向けた啓蒙、女性の社会参加機会の確保と意識の向上を推進します。 また、社会的弱者と言われる、女性や幼児・児童など、支援を要する者に対して、速やかな対策を講じることが出来るような取り組みを進めます。 |
| | | 高根沢町地域経営計画2006 該当ページ | | | |
| 担当部課 | 教育部生涯学習課 | 担当 リーダー | 社会教育担当 横塚恵子 | | |
| 環境変化 | 近年、DVや児童虐待等を問題が顕著化している | | | | 女性に対する暴力の根絶に向けて、健康福祉課ではコーディネーターを配置し、児童虐待・DV等の防止や虐待者へのケアを行っています。円滑な相談指導体制を強化するとともに、暴力防止に向けた普及啓発活動を実施していきます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋) |

指標

| 施策の評価指標 | 基準値 | 年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|----------------------------|--------|----|------|------|------|------|------|
| 指標：DV撲滅呼びかけ記事の広報紙年間掲載回数(回) | 平成16年度 | 計画 | 4回 | 6回 | 6回 | 6回 | 6回 |
| | 100人 | 実績 | 2回 | 4回 | 4回 | | |
| 指標： | | 計画 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |
| 指標： | | 計画 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |
| 指標： | | 計画 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |
| 指標に関する特記事項 | | | | | | | |

| 施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移 | 年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|-----------------------|----|------|------|--------|------|------|
| | 当初 | 0 | 0 | 65,000 | | |
| | 決算 | 0 | 0 | 0 | | |

事務事業事後評価 20年度の検証

| 施策傘下事務事業 | 事業費 | 活動量(アウトプット) | 施策への貢献度 | 施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム) | | | |
|----------|-----------|-------------|---------|--|----|--------------|----|
| DV撲滅連携事業 | 当初 65,000 | 研修等の参加者数 | B | 家庭内に潜むDVの被害者への支援、DVに関する相談窓口や相談機関の情報提供など広報誌を活用し、継続的に周知の徹底を図っていくことで、被害者への救済にむけた手立てを知ることができた。 | | | |
| | 決算 0 | 48人 / 300人 | | 今後の方向性(自己評価) | 統合 | 今後の方向性(総合評価) | 統合 |
| | 当初 | | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |
| | 決算 | / | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |
| | 当初 | | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |
| | 決算 | / | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |
| | 当初 | | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |
| | 決算 | / | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |
| | 当初 | | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |
| | 決算 | / | | 今後の方向性(自己評価) | | 今後の方向性(総合評価) | |

施策事後評価 20年度の検証

| | 施策達成状況に関する評価 | 課題と今後の方向性 |
|------|---|---|
| 自己評価 | 目標値には達成することが出来なかった。 20年度は、地域との関わりの深い民生児童委員を対象にDVに関する講演会を開催したが、事実被害者の支援にあたっている民生児童委員の役割は大きい。その方を対象にした被害者への対応、講演会は効果的な事業と評価する。 当事務事業は、総合窓口である健康福祉課に統合し、総合的な支援を行う。 | 次年度からDV被害者対策推進事業を立ち上げる町健康福祉課を主体に、DV被害者支援機関(こどもみらい課、福祉事務所、支援団体等)との支援・連携を図っていく。 |
| 総合評価 | ■ 総合評価 ■ 後期計画策定に向け、単発的に事業を行うのではなく、他の分野の施策などと抱き合わせにより、一層の成果をあげていくなど、手法を改善すること。生涯学習は自由な発想が可能な分野であるので、他課や関係機関、NPO団体等との連携を図った施策展開を検討すること。 また、それに併せた施策指標も見直すこと。 | |